

# 2017年8月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時  
2017年8月5日(土) 10:00~17:00

2. 開催場所  
中部品質管理協会

3. 参加者<敬称略>出:出席、欠:欠席、書:書記、休:休会

井上	出	大見	出	牧野	出	横尾	出	山口	欠	杉浦	欠	三浦	出	城越	出
中山	出	合田	書	佐藤	出	伊藤	出	舟山	出	石上	欠	出島	出	岡田	出
庄内	出	福田	出												

見学: 楠本氏

4. 研究会内容

1) 輪講 次月に繰り越し

2) 事例相談 1

「歩行補助車 保護カバーの機能」(岡田)

前月の相談内容を基に計測の可否を確認した結果、可能であった。  
ノイズ因子も確定させたので次月までに機能性評価を実施する。

3) 事例相談 2

「高速通信ケーブルの伝送速度安定化」(合田)

以前相談したテーマの実験結果報告。有効な因子が見つかり確認実験をしたが再現しなかった。  
膨大な実験データからSN比を算出する方法についてアドバイスいただいた。

5. 講演会

①「ソフトウェアのご紹介」(KTS&C 菊池富男氏)

アルプス電気にて信頼性試験、品質工学、特にMTシステムの開発と標準化に携わり、2010年独立。  
ソフトライブラリ「Vector」に3百本以上のソフトを提供するなどの活躍をされている。  
今回、APRT法など品質工学に役立つソフトを多数、紹介いただいた。

②「競争優位を生み出す人工知能の技術と応用」(富士通研究所人工知能研究所 渡部勇氏)

AIに限らずデータを解析するには、データの質が重要である。良いデータ→良い技術→良い結果が得られる。良いデータとは、製造現場の暗黙値などが考慮されたものを言う。データの解析には、現場の知識とデータ分析の融合が必要。

6. 事務局連絡

①合同研究会報告(城越)

・8/4京都・大阪・滋賀・中部合同で開催された。

②ソフトウェア資産運用(横尾さん、大見さん)

・研究会のソフトウェア資産の管理方法他について横尾さんより提案。  
中品協HP工事は17万と高額のため見送り、USBでの配布とする。

③品質工学会依頼の報告(大見さん、合田)

・谷本品質工学会会長の訪問依頼、及び地方研究会紹介原稿作成について報告。

④次月以降のテーマ相談

・「歩行補助車 保護カバーの改善: 結果報告」(岡田さん)他

⑤会則改定について

・研究会として会員を派遣・出張させる場合の費用支給について、提案及び承認。

7. 分科会内容

1) APRT法: リーダー出島

データ累積効果の確認、及び残る課題の整理。

2) 機能性評価: リーダー合田

基本機能の種類と導出法について、調査すべき文献と今後の進め方について議論。

3) 応答曲面法によるロバスト設計: リーダー山口

鳥人間コンテスト(鳥シミュ)をL18直交表によってシミュレーションを行った結果を報告。  
シミュレーション結果を応答曲面法での計算を試みた。

4) CS-T法: リーダー牧野

\* 牧野は、SC-T法を検討中。自分で理解出来るデータで検討してみることにした。

9. 次回案内

日時: 2017年9月9日(土) 10:00-17:00

場所: 中部品質管理協会

以上